

FD NEWSLETTER



CONTENTS

- 教育目標と教育改革
 - FD 推進委員会副委員長
 - 教育・研究担当副学長
 - 日笠 完治
- 2017 年度「学生による授業アンケート」
 - (前期) 集計結果
- 学生FDスタッフのさらなる活躍を
 - 期待して
 - 法学部 准教授
 - 田中 優企
- FD 推進委員会今後の活動予定
- 2017 年度「公開授業」実施の
 - お知らせ

教育目標と教育改革

FD 推進委員会副委員長
教育・研究担当副学長 日笠 完治

国家活動は未来志向であるため、進歩すなわち絶えざる改革改善が求められる。教育・研究も例外ではない。とりわけ、教育は従来から「国家 100 年の計」と言われてきた。次世代の人間作りは、現時における崇高な理想の人間像ないし安定的国家社会像を追求しつつ、模索し措定され具体的な教育施策として展開していく。

戦後の教育は、日本国憲法とともに 1947 年施行の教育基本法前文で、「個人の尊厳を重んじ、真理と平和を希求する人間」を標榜し、教育の目的は、同法第 1 条が規定するように、「人格の完成をめざし、平和的な国家及び社会の形成者として、真理と正義を愛し、個人の価値をたつとび、勤労と責任を重んじ、自主的精神に充ちた心身ともに健康な国民の育成」であった。その後、高度経済成長期に生じた過酷な受験競争・学歴社会に対する反省から、ゆとり教育政策へと転換する。

しかし、経済のグローバル化、情報技術の急展開と産業構造の激変、人口の減少と加速度的な少子高齢化、地方の衰退や格差社会の現出など、現代的な問題に直面した政府は、教育政策の大転換のため、教育基本法を 2006 年に改正した。同改正法第 2 条は教育の目標として、具体的に、幅広い知識と教養、能力の伸長と創造性、男女平等、生命尊重と自然環境保全、伝統と文化の尊重などを規定した。また、生涯学習の理念が掲げられ、さらには障害者支援、家庭教育、幼児期の教育等が新設されている。

また、同改正法第 17 条には、「政府は、教育の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、教育の振興に関する施策についての基本的な方針及び講ずべき施策その他必要な事項について、基本的な計画を定め」と、規定される。現在推進されている法改正ないし各種施策並びに行政指導は、これを根拠に進められている。

大学については、真理の探究と知見の創造及び成果の社会提供が求められる一方、自主性・自律性及びその特性が尊重されるとする。大学教員については、自ら絶えず研究と修養に励むこと、大学にはその身分の尊重と待遇の適正を期すこと、同時に養成と研修の充実を図ることが求められている（同改正法第 7 条）。

現在進行形の政府の教育目標や教育改革を受け入れるなら、本学教職員は、一丸となって、本学の教学方針の具体化のために協働すると同時に、本学の特性については全学的に英知を結集し共通理解を確固たるものにしないと、政府ないし文部科学省などの改革に乗り遅れ、本学の独自性を見失うことになる。困難な時代にある我々は、常に賢明な解決策を見出し、積極的に取り組む必要があることを、強く意識したい。

**2017 年度「学生による授業アンケート」(前期)
の集計結果について**

2017 年度「学生による授業アンケート」(前期)を以下のとおり実施した。

実施日	平成 29 年 6 月 5 日 (月) ~ 6 月 24 日 (土)
対象科目	1,188 科目
対象者数	84,152 人 (延べ人数)
実施科目数	1,188 科目
有効回答数	41,804 件 (49.7%)

【質問項目】

Q1. 所属学部学科等

20 : 仏教 19 : 国文 18 : 英米文 17 : 地理 16 : 日本史学
15 : 外国史学 14 : 考古学 13 : 社会学 12 : 社会福祉学
11 : 心理 10 : 経済 9 : 商 8 : 現代応用経済 7 : 法律 A
6 : 法律 B 5 : 政治 4 : 経営 3 : 市場戦略
2 : 診療放射線技術科 1 : グローバル・メディア

Q2. 学年

5 : 4 年 4 : 3 年 3 : 2 年 2 : 1 年 1 : その他

Q3. どのような入学試験を受けて、あなたは本学に入学しましたか。

11 : 一般入試 10 : 大学入試センター試験利用入試
9 : 一般推薦入試 8 : スポーツ推薦入試 7 : 指定校推薦
6 : 附属校推薦入試 5 : 留学生特別入試
4 : 帰国生特別入試 3 : 編入学試験 2 : その他の試験
1 : 回答しない

Q4. この授業を何回欠席しましたか。

5 : 0 回 4 : 1~2 回 3 : 3~4 回 2 : 5~6 回 1 : 7 回以上

Q5. どのような理由でこの授業を履修しましたか。(複数選択可)

7 : シラバスを見て授業内容に興味を持った
6 : シラバス以外の情報 (友人等) により、授業内容に興味を持った
5 : 履修モデル (コース制等) を見て決めた
4 : 資格の取得
3 : 必修科目または選択必修科目だったから
2 : 時間割 (曜日時限) を考慮して決めた
1 : その他

Q6. この授業の予習にあてている時間は 1 週間に何時間くらいですか。

Q7. この授業の復習にあてている時間は 1 週間に何時間くらいですか。

(Q6・7 選択肢)

5 : 4 時間以上

4 : 3 時間以上~4 時間未満

3 : 2 時間以上~3 時間未満

2 : 1 時間以上~2 時間未満

1 : 1 時間未満

Q8. あなたは授業に熱心に取り組んでいますか。

Q9. 授業はほぼ定刻通りに実施されていますか。

Q10. 通常通り、授業回数は確保されていますか。(補講・YeStudy 等による課題授業含む)

Q11. 授業にはおおむねシラバスの内容が反映されていますか。

Q12. この授業の進み方はあなたにとって適切ですか。

(Q8~12 の選択肢は 3 ページに記載)

Q13. 教科書・配付資料等は授業内容を理解するうえで効果的ですか。

5 : とてもそう思う

4 : そう思う

3 : どちらとも言えない

2 : あまりそう思わない

1 : 全くそう思わない

0 : 教科書・配付資料等がない授業

Q14. 担当教員の授業への取り組みには熱意が感じられますか。

Q15. 教員の話し方・声のボリュームは聞き取りやすいですか。

(Q14・15 の選択肢は 3 ページに記載)

Q16. 板書や投影されたスクリーンの文字・図表等は見やすいですか。

5 : とてもそう思う

4 : そう思う

3 : どちらとも言えない

2 : あまりそう思わない

1 : 全くそう思わない

0 : 板書・スクリーンへの投影がない授業

Q17. 教員は授業内容に沿った授業環境・雰囲気づくりに配慮していますか。

(Q17 の選択肢は 3 ページに記載)

Q18. 教員はあなたの意見や質問に対して適切に対応していますか。

5: とてもそう思う

4: そう思う

3: どちらとも言えない

2: あまりそう思わない

1: 全くそう思わない

0: あなたが当該授業において意見・質問をしたことがない場合

Q19. この科目の授業内容についてよく理解できていますか。

Q20. 授業内容に興味を持っていますか。

Q21. あなたはこの授業の到達目標を達成できると思いますか。
(Q8~12・14・15・17・19~21 選択肢)

5: とてもそう思う

4: そう思う

3: どちらとも言えない

2: あまりそう思わない

1: 全くそう思わない

Q22. 教員自由設定質問

Q23. この授業のよかった点を具体的に記入してください。

Q24. この授業の改善してほしい点を具体的に記入してください。

【学年別平均値】

表 1 はアンケート質問項目 (Q4・6~21) の学年別平均値を示したものである。

表 1 学年別の平均値

学年別	1 年	2 年	3 年	4 年	その他
Q 4 平均値	4.5	4.5	4.4	3.9	4.0
Q 6 平均値	1.3	1.2	1.3	1.3	1.7
Q 7 平均値	1.3	1.2	1.3	1.3	1.8
Q 8 平均値	3.9	3.9	3.9	4.0	3.7
Q 9 平均値	4.5	4.5	4.5	4.6	3.9
Q10 平均値	4.6	4.6	4.6	4.7	4.4
Q11 平均値	4.4	4.4	4.5	4.6	4.3
Q12 平均値	4.1	4.1	4.2	4.3	3.8
Q13 平均値	4.0	4.0	4.1	4.2	3.8
Q14 平均値	4.4	4.4	4.4	4.5	4.3
Q15 平均値	4.3	4.3	4.4	4.5	3.9
Q16 平均値	4.1	4.1	4.1	4.2	4.3
Q17 平均値	4.2	4.2	4.4	4.4	4.0
Q18 平均値	4.3	4.3	4.3	4.4	4.2
Q19 平均値	3.9	3.9	3.9	4.1	3.9
Q20 平均値	3.9	3.9	4.1	4.2	3.8
Q21 平均値	3.9	3.9	4.0	4.1	3.8
有効回答数	19,360	11,897	4,878	1,871	49

【入試形態との関連】

2010 年度より、入試形態と学生の授業への取り組み（出席状況、予習・復習時間など）との関連を把握するために入学試験タイプの質問を追加している（Q3）。なお、回答は任意とした（回答率 99.4%）。（表 2 入試形態別の項目別平均値）

表 2 入試形態別の項目別平均値（Q4・6～21）

入試形態別	一般入試	大学入試センター試験 利用入試	一般推薦入試	スポーツ推薦入試	指定校推薦入試	附属校推薦入試	留学生特別入試	帰国生特別入試	編入学試験	その他	回答しない
Q4 平均値	4.5	4.4	4.5	4.2	4.6	4.5	4.5	4.2	4.2	4.6	4.2
Q6 平均値	1.3	1.2	1.2	1.3	1.3	1.2	1.7	1.5	1.2	1.2	1.4
Q7 平均値	1.3	1.2	1.3	1.3	1.3	1.2	1.8	1.5	1.2	1.3	1.4
Q8 平均値	3.9	3.8	3.9	4.0	4.0	3.9	4.4	3.6	3.9	4.0	3.7
Q9 平均値	4.5	4.5	4.5	4.4	4.5	4.4	4.7	4.4	4.6	4.6	4.2
Q10 平均値	4.6	4.6	4.6	4.5	4.6	4.5	4.8	4.5	4.6	4.7	4.3
Q11 平均値	4.4	4.5	4.4	4.4	4.4	4.3	4.7	4.3	4.6	4.5	4.1
Q12 平均値	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	4.0	4.5	4.1	4.4	4.1	3.8
Q13 平均値	4.1	4.0	4.0	4.1	4.0	3.9	4.4	4.2	4.2	4.1	3.7
Q14 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.7	4.3	4.5	4.4	4.1
Q15 平均値	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.6	4.4	4.5	4.3	4.1
Q16 平均値	4.1	4.1	4.1	4.2	4.1	4.0	4.6	4.4	4.3	4.2	4.0
Q17 平均値	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	4.6	4.2	4.4	4.3	4.0
Q18 平均値	4.1	4.1	4.1	4.2	4.1	4.0	4.6	4.4	4.3	4.2	4.0
Q19 平均値	4.0	4.0	3.8	3.8	3.8	3.8	4.4	4.1	4.1	3.8	3.7
Q20 平均値	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9	3.9	4.4	4.0	4.2	4.0	3.8
Q21 平均値	3.9	3.9	3.8	3.9	3.8	3.8	4.4	3.9	4.1	3.8	3.7
有効回答数	20,902	3,088	3,397	1,116	4,523	3,576	588	93	211	341	220

【学部学科・専攻・部門別集計結果】授業担当者の所属別に、専任教員と非常勤教員を分けて集計をした。

表 3 教員所属の学科・専攻・部門別平均値 (Q4・6~21)

※「-」は前期アンケート対象科目なし

(学部)学科・専攻・部門	(仏教) 禅			(仏教) 仏教			(文) 国文		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q 4 平均値	-	-	-	4.0	4.0	-	4.5	4.5	-
Q 6 平均値	-	-	-	1.3	1.3	-	1.0	1.0	-
Q 7 平均値	-	-	-	1.3	1.3	-	1.1	1.1	-
Q 8 平均値	-	-	-	3.2	3.2	-	3.9	3.9	-
Q 9 平均値	-	-	-	4.0	4.0	-	4.5	4.5	-
Q10 平均値	-	-	-	4.1	4.1	-	4.7	4.7	-
Q11 平均値	-	-	-	4.1	4.1	-	4.3	4.3	-
Q12 平均値	-	-	-	3.8	3.8	-	4.2	4.2	-
Q13 平均値	-	-	-	3.9	3.9	-	3.8	3.8	-
Q14 平均値	-	-	-	4.0	4.0	-	4.3	4.3	-
Q15 平均値	-	-	-	3.2	3.2	-	4.3	4.3	-
Q16 平均値	-	-	-	3.8	3.8	-	4.3	4.3	-
Q17 平均値	-	-	-	3.9	3.9	-	4.2	4.2	-
Q18 平均値	-	-	-	4.1	4.1	-	4.3	4.3	-
Q19 平均値	-	-	-	3.2	3.2	-	4.1	4.1	-
Q20 平均値	-	-	-	3.3	3.3	-	3.7	3.7	-
Q21 平均値	-	-	-	3.5	3.5	-	4.0	4.0	-
有効回答数	-			61			190		

(学部)学科・専攻・部門	(文) 英米文			(文) 地域文化			(文) 地域環境		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q 4 平均値	4.6	-	4.6	4.5	4.5	4.4	4.5	4.6	4.5
Q 6 平均値	1.2	-	1.2	1.2	1.2	1.1	1.2	1.3	1.1
Q 7 平均値	1.2	-	1.2	1.3	1.3	1.1	1.3	1.4	1.2
Q 8 平均値	3.9	-	3.9	3.8	3.8	3.6	3.9	4.2	3.7
Q 9 平均値	4.5	-	4.5	4.5	4.5	4.3	4.4	4.7	4.3
Q10 平均値	4.5	-	4.5	4.6	4.6	4.5	4.6	4.7	4.6
Q11 平均値	4.3	-	4.3	4.3	4.4	3.6	4.5	4.6	4.4
Q12 平均値	3.8	-	3.8	4.0	4.1	3.4	4.2	4.3	4.2
Q13 平均値	4.0	-	4.0	4.0	4.1	3.7	4.2	4.4	4.2
Q14 平均値	4.1	-	4.1	4.3	4.3	4.2	4.5	4.6	4.4
Q15 平均値	4.3	-	4.3	4.2	4.3	3.9	4.4	4.4	4.4
Q16 平均値	4.3	-	4.3	4.1	4.1	4.0	4.2	4.3	4.1
Q17 平均値	4.1	-	4.1	4.2	4.2	3.8	4.3	4.5	4.3
Q18 平均値	4.4	-	4.4	4.1	4.2	3.9	4.3	4.6	4.2
Q19 平均値	3.8	-	3.8	3.7	3.8	3.3	3.9	4.1	3.8
Q20 平均値	3.7	-	3.7	3.9	3.9	3.6	4.1	4.3	4.0
Q21 平均値	3.8	-	3.8	3.7	3.8	3.4	4.0	4.1	3.8
有効回答数	166			528			699		

(学部)学科・専攻・部門	(文) 日本史学			(文) 外国史学			(文) 考古学		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	-	4.5	4.8	-	4.8
Q6 平均値	1.4	1.1	1.8	1.1	-	1.1	1.0	-	1.0
Q7 平均値	1.3	1.1	1.6	1.2	-	1.2	1.1	-	1.1
Q8 平均値	4.2	4.0	4.4	4.0	-	4.0	4.3	-	4.3
Q9 平均値	4.6	4.5	4.8	4.7	-	4.7	4.9	-	4.9
Q10 平均値	4.8	4.7	4.9	4.7	-	4.7	4.9	-	4.9
Q11 平均値	4.6	4.5	4.8	4.5	-	4.5	4.8	-	4.8
Q12 平均値	4.4	4.5	4.4	4.4	-	4.4	4.7	-	4.7
Q13 平均値	4.7	4.7	4.7	4.3	-	4.3	4.7	-	4.7
Q14 平均値	4.8	4.7	4.8	4.6	-	4.6	4.9	-	4.9
Q15 平均値	4.7	4.8	4.7	4.5	-	4.5	4.9	-	4.9
Q16 平均値	4.5	4.5	4.5	4.2	-	4.2	4.8	-	4.8
Q17 平均値	4.7	4.6	4.7	4.5	-	4.5	5.0	-	5.0
Q18 平均値	4.6	4.5	4.6	4.5	-	4.5	4.6	-	4.6
Q19 平均値	4.4	4.4	4.4	4.1	-	4.1	4.2	-	4.2
Q20 平均値	4.3	4.3	4.4	4.5	-	4.5	4.4	-	4.4
Q21 平均値	4.2	4.1	4.3	4.0	-	4.0	4.1	-	4.1
有効回答数	179			200			55		

(学部)学科・専攻・部門	(文) 社会学			(文) 社会福祉学			(文) 心理		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.6	4.6	4.5	4.6	4.7	4.6	4.5	4.6	4.4
Q6 平均値	1.1	1.1	1.2	1.1	1.1	1.1	1.1	1.0	1.1
Q7 平均値	1.2	1.2	1.2	1.2	1.1	1.3	1.2	1.1	1.2
Q8 平均値	3.7	3.7	3.8	4.0	3.9	4.0	4.0	4.3	4.0
Q9 平均値	4.4	4.6	4.2	4.5	4.5	4.5	4.6	4.3	4.6
Q10 平均値	4.6	4.7	4.5	4.5	4.4	4.5	4.7	4.8	4.7
Q11 平均値	4.3	4.5	4.2	4.5	4.5	4.5	4.6	4.7	4.5
Q12 平均値	3.8	4.1	3.5	4.4	4.4	4.4	4.4	4.6	4.3
Q13 平均値	3.3	4.0	2.5	4.4	4.4	4.3	4.1	4.5	4.0
Q14 平均値	4.1	4.4	3.9	4.5	4.6	4.4	4.5	4.6	4.5
Q15 平均値	3.8	4.2	3.4	4.3	4.6	4.2	4.3	4.7	4.2
Q16 平均値	3.5	3.7	3.2	4.1	4.2	4.1	4.3	4.3	4.3
Q17 平均値	3.9	4.1	3.6	4.3	4.4	4.2	4.5	4.7	4.4
Q18 平均値	3.9	4.2	3.7	4.3	4.3	4.3	4.4	4.7	4.3
Q19 平均値	3.5	3.8	3.2	4.0	4.0	4.0	4.1	4.4	4.0
Q20 平均値	3.6	3.9	3.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.7	4.1
Q21 平均値	3.5	3.8	3.2	3.9	4.0	3.9	4.0	4.4	4.0
有効回答数	819			889			503		

(学部)学科・専攻・部門	(経済) 経済			(経済) 商			(経済) 現代応用経済			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q4 平均値		4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3
Q6 平均値		1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.3	1.3	1.3	1.3
Q7 平均値		1.2	1.2	1.2	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
Q8 平均値		3.9	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0
Q9 平均値		4.5	4.4	4.5	4.3	4.3	4.4	4.5	4.5	4.4
Q10 平均値		4.5	4.5	4.6	4.5	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5
Q11 平均値		4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.4	4.4	4.4
Q12 平均値		4.2	4.2	4.2	4.0	4.0	4.1	4.2	4.2	4.2
Q13 平均値		4.1	4.1	4.1	3.9	3.8	4.1	4.1	4.1	4.1
Q14 平均値		4.4	4.4	4.4	4.3	4.2	4.3	4.4	4.4	4.3
Q15 平均値		4.4	4.4	4.4	4.2	4.4	4.1	4.4	4.5	4.4
Q16 平均値		4.2	4.3	4.2	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.0
Q17 平均値		4.3	4.4	4.3	4.2	4.2	4.1	4.3	4.3	4.3
Q18 平均値		4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.2
Q19 平均値		4.0	3.9	4.1	3.9	3.8	4.0	3.9	3.9	4.0
Q20 平均値		4.1	4.0	4.1	4.0	3.9	4.0	4.1	4.1	4.1
Q21 平均値		4.0	3.9	4.0	3.9	3.8	3.9	4.0	3.9	4.0
有効回答数		4,236			2,611			1,864		

(学部)学科・専攻・部門	(法) 法律			(法) 政治			(経営) 経営			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q4 平均値		4.3	4.3	4.5	4.5	4.5	4.4	4.4	4.4	4.5
Q6 平均値		1.3	1.4	1.2	1.2	1.2	1.1	1.2	1.2	1.2
Q7 平均値		1.4	1.4	1.2	1.2	1.3	1.2	1.3	1.3	1.3
Q8 平均値		3.6	3.6	3.7	3.9	4.1	3.7	3.8	3.8	4.0
Q9 平均値		4.3	4.3	4.4	4.5	4.7	4.4	4.5	4.5	4.5
Q10 平均値		4.4	4.5	4.2	4.7	4.7	4.6	4.5	4.6	4.5
Q11 平均値		4.3	4.3	4.2	4.5	4.5	4.5	4.4	4.4	4.4
Q12 平均値		3.6	3.4	4.0	4.1	4.3	4.0	4.0	4.0	4.1
Q13 平均値		3.6	3.6	3.8	3.6	3.4	3.7	4.1	4.0	4.1
Q14 平均値		4.1	4.0	4.3	4.4	4.5	4.3	4.3	4.2	4.5
Q15 平均値		3.9	3.9	3.9	4.4	4.5	4.4	4.3	4.2	4.4
Q16 平均値		3.7	3.6	3.8	4.1	4.2	4.0	4.1	4.0	4.2
Q17 平均値		3.9	3.8	4.2	4.3	4.5	4.2	4.2	4.2	4.3
Q18 平均値		3.9	3.8	4.0	4.4	4.5	4.2	4.3	4.2	4.4
Q19 平均値		3.4	3.3	3.7	3.7	3.9	3.6	3.8	3.7	4.0
Q20 平均値		3.5	3.4	3.8	4.0	4.1	3.8	3.9	3.8	4.1
Q21 平均値		3.5	3.4	3.8	3.7	3.9	3.6	3.8	3.8	3.9
有効回答数		561			609			1,762		

(学部)学科・専攻・部門	(経営)市場戦略			(医療健康科)			(GMS)		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.5	4.5	4.5	4.7	4.7	4.6	4.5	4.5	4.5
Q6 平均値	1.3	1.3	1.1	1.1	1.1	1.2	1.3	1.2	1.5
Q7 平均値	1.3	1.3	1.3	1.2	1.2	1.2	1.3	1.3	1.4
Q8 平均値	3.8	3.8	4.2	3.9	3.9	3.7	3.9	3.7	4.1
Q9 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.4
Q10 平均値	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	4.6	4.5	4.7
Q11 平均値	4.4	4.3	4.6	4.5	4.5	4.4	4.4	4.4	4.5
Q12 平均値	3.8	3.8	4.2	4.1	4.1	4.3	4.0	3.9	4.1
Q13 平均値	3.7	3.7	4.0	4.2	4.1	4.3	3.4	3.3	3.6
Q14 平均値	4.2	4.1	4.3	4.4	4.4	4.4	4.2	4.2	4.3
Q15 平均値	4.0	4.0	4.4	4.3	4.3	4.4	4.2	4.0	4.4
Q16 平均値	3.8	3.8	4.2	4.1	4.1	4.3	4.0	4.0	4.1
Q17 平均値	4.1	4.0	4.4	4.3	4.3	4.3	4.2	4.1	4.3
Q18 平均値	4.1	4.1	4.4	4.4	4.4	4.5	4.3	4.2	4.4
Q19 平均値	3.6	3.6	4.2	3.8	3.8	3.9	3.8	3.6	4.0
Q20 平均値	3.8	3.7	4.3	4.0	3.9	4.0	3.9	3.7	4.0
Q21 平均値	3.7	3.7	4.3	3.9	3.8	4.0	3.8	3.7	3.9
有効回答数	1,473			1,221			2,584		

(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究)文化学			(総合教育研究)自然科学			(総合教育研究)日本文化		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.3	4.2	4.4	4.3	4.3	4.3	4.4	4.5	4.4
Q6 平均値	1.1	1.1	1.1	1.2	1.2	1.2	1.1	1.1	1.2
Q7 平均値	1.2	1.1	1.2	1.2	1.2	1.2	1.1	1.1	1.1
Q8 平均値	3.7	3.4	4.0	3.8	3.8	3.9	4.1	4.0	4.3
Q9 平均値	4.3	4.0	4.5	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7
Q10 平均値	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6	4.6	4.8	4.7	4.8
Q11 平均値	4.2	4.0	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.7
Q12 平均値	4.0	3.9	4.1	4.2	4.2	4.1	4.4	4.4	4.5
Q13 平均値	3.8	3.8	3.8	4.1	4.1	4.1	4.3	4.2	4.4
Q14 平均値	4.3	4.1	4.5	4.4	4.5	4.4	4.7	4.7	4.6
Q15 平均値	3.9	4.0	3.9	4.4	4.4	4.3	4.6	4.6	4.6
Q16 平均値	3.9	4.0	3.7	4.1	4.1	4.1	4.3	4.3	4.3
Q17 平均値	4.1	3.9	4.3	4.3	4.3	4.3	4.5	4.4	4.5
Q18 平均値	4.2	4.0	4.4	4.3	4.3	4.3	4.5	4.4	4.6
Q19 平均値	3.7	3.5	3.9	3.9	3.9	3.9	4.2	4.2	4.3
Q20 平均値	3.8	3.4	4.1	4.0	4.0	4.1	4.3	4.2	4.4
Q21 平均値	3.7	3.5	3.9	3.9	3.9	3.9	4.1	4.1	4.2
有効回答数	500			2,589			1,296		

(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究) 外国語第一			(総合教育研究) 外国語第二			(総合教育研究) スポーツ・健康科学		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q4 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5	-
Q6 平均値	1.4	1.3	1.4	1.4	1.2	1.4	1.3	1.3	-
Q7 平均値	1.3	1.2	1.3	1.4	1.3	1.5	1.3	1.3	-
Q8 平均値	3.9	3.8	3.9	4.1	4.0	4.2	4.1	4.1	-
Q9 平均値	4.5	4.3	4.5	4.5	4.6	4.4	4.5	4.5	-
Q10 平均値	4.6	4.5	4.6	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	-
Q11 平均値	4.4	4.1	4.4	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	-
Q12 平均値	4.0	3.7	4.0	4.2	4.2	4.2	4.5	4.5	-
Q13 平均値	4.1	3.7	4.2	4.3	4.3	4.3	3.8	3.8	-
Q14 平均値	4.4	4.2	4.4	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	-
Q15 平均値	4.3	4.2	4.4	4.5	4.6	4.5	4.7	4.7	-
Q16 平均値	4.2	4.0	4.2	4.3	4.4	4.3	4.4	4.4	-
Q17 平均値	4.2	3.9	4.2	4.4	4.5	4.4	4.5	4.5	-
Q18 平均値	4.2	4.0	4.3	4.5	4.6	4.4	4.5	4.5	-
Q19 平均値	4.0	3.7	4.0	4.0	4.1	4.0	4.4	4.4	-
Q20 平均値	3.8	3.5	3.8	4.2	4.1	4.2	4.3	4.3	-
Q21 平均値	3.8	3.6	3.9	4.0	4.0	4.0	4.3	4.3	-
有効回答数	7,733			3,288			265		

(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究) 教職課程		
	専任・非常勤区分	全体	専任
Q4 平均値	4.6	4.6	4.6
Q6 平均値	1.2	1.1	1.2
Q7 平均値	1.2	1.2	1.2
Q8 平均値	4.0	3.9	4.0
Q9 平均値	4.6	4.7	4.5
Q10 平均値	4.7	4.8	4.6
Q11 平均値	4.6	4.6	4.6
Q12 平均値	4.3	4.3	4.3
Q13 平均値	4.3	4.4	4.3
Q14 平均値	4.5	4.6	4.5
Q15 平均値	4.4	4.5	4.4
Q16 平均値	4.3	4.4	4.1
Q17 平均値	4.4	4.3	4.4
Q18 平均値	4.4	4.4	4.3
Q19 平均値	4.1	4.1	4.2
Q20 平均値	4.1	4.1	4.2
Q21 平均値	4.1	4.0	4.1
有効回答数	1,022		

2017 年度「学生による授業アンケート」(前期) 集計結果について

今年度の前期授業アンケートの回答率は 49.7%であった。2016 年度前期は 52.1%であったため、前年度より 2.3%低下している。2015 年度前期は 58.7%、2014 年度前期は 56.2%であったが、今回は 50%に届かず、C-Learning による回答方式を導入した 2014 年度以来、最低の回答率となった。学年別にみると、毎度のことではあるが、やはり 1 年生の回答率が圧倒的に高く、学年が上がるにつれて低下している。単純に有効回答数の比で見ると、2 年生は 1 年生の 61%程度、3 年生は 2 年生の 41%程度、4 年生は 3 年生の 38%程度の回答数と大きく右肩下がり、3 年生は 1 年生の 4 分の 1、4 年生は 1 年生の 10 分の 1 にも満たない数字である。もっとも、1、2 年次に多くの単位を修得済みである 3、4 年生は履修科目自体が少なく、特に 4 年生ではアンケート対象外の演習科目だけの履修という学生も少なくないことから、単純には比較できないであろう。しかし、ここ 3 年間の前期授業アンケート有効回答数の推移(2015 年度→2016 年度→2017 年度)をみると、1 年生は 19,122→17,870→19,360 と今回が過去 3 年間で最も回答数が多く、2 年生も 14,714→11,351→11,897 と前年度より若干上昇したのに対し、3 年生は 7,154→5,484→4,874、4 年生は 2,907→2,175→1,871 と大きく減少している傾向にある。

一方、質問項目別の平均値をみると、今回の数値は全般的に高く、過去 3 年間で比較すると最も良い結果が表れている。2016 年度前期の平均値より低下したのは、2 年生と 4 年生の Q6 (予習時間)、Q7 (復習時間)のみである(いずれも僅かに 0.1%低下)。当該質問項目は、2015 年度前期アンケートでは Q6 (予習・復習時間)の 1 項目にまとめられていたが、それと比較しても、全学年でこの項目のみ 0.1~0.2%低下しているにすぎず、それ以外の質問項目の平均値は、全て横ばい又は上昇という喜ばしい結果となった。全学年で特に大きく上昇したのは、Q9(授業はほぼ定刻通りに実施されているか)、Q10(授業回数は確保されているか)、Q11(授業にはシラバスの内容が反映されているか)である。2015 年度からの推移をみると、Q9 は 1、2 年生が共に 4.2→4.2→4.5、3 年生が 4.3→4.2→4.5、4 年生が 4.3→4.3→4.6、Q10 は 1~3 年生が共に 4.4→4.3→4.6、4 年生が 4.5→4.4→4.7、Q11 は 1 年生が 3.9→4.1→4.4、2 年生が 4.1→4.2→4.4、3 年生が 4.1→4.2→4.5、4 年生が 4.2→4.3→4.6 と、2015 年度及び 2016 年度前期は平均 4.2~4.3 であったところ、今回はいず

れの学年も前年度より 0.3 ポイント(以下「p」と表す。尚、Q11 の 2 年のみ 0.2p) 上昇し、平均値 4.5~4.6 と高い評価になっている。また、教員の授業への取組みや工夫、配慮等の在り方を問う Q14~18 においても、それに次ぐ結果がみられた。これらの項目では、2015 年度前期と 2016 年度前期の数値は殆ど変わっていないのだが、今回は Q14 が全学年で 0.2p、Q15 が 1・2・4 年生で 0.2p、3 年生で 0.3p、Q16 が 1~3 年生で 0.2p、4 年生で 0.1p、Q17 が 1 年生で 0.1p、2・4 年生で 0.2p、3 年生で 0.3p、Q18 が 1・4 年生で 0.3p、2・3 年生で 0.2p の上昇となった。これは、各学部学科及び各教員がアンケートの結果を踏まえて授業改善に向けて取り組んでいる成果であろう。

しかしながら、学生自身の取り組みや授業の理解度等を問う項目については、例年と変わらず、今回も低い数値となった。既述の通り Q6、Q7 は 2 年生と 4 年生で各 0.1p 下がり、他は全て横ばいと、相変わらず学習時間が少なく、また Q8 (授業に熱心に取り組んでいるか) は前年度が全学年で 3.8 だったので、4 年は 0.2p 上昇したが、他の学年は僅か 0.1p の上昇に留まり、依然 4.0 に達していない。Q19 (授業内容について理解しているか)、Q20 (授業内容に興味を持っているか)、Q21 (授業の到達目標を達成できると思うか) についても、1・2 年生はいずれも 0.1p 上昇したものの、依然 4.0 には達していない。3・4 年生は 0.1~0.2p 上昇し、特に 4 年生は全て 4.1~4.2 の水準に達したが、3・4 年生の回答率が今回は低かったことに鑑みると、これはおそらく熱心に授業に出席して取り組んでいる学生により反映された数値であろうと推測される。

なお、入試形態別の各項目平均値を分析すると、他は大差がないものの、留学生特別入試による学生は Q6 が 1.7 (他は 1.2~1.3)、Q7 が 1.8 (他は 1.2~1.3) であり、その他の項目は最低値でも 4.4、多くの項目は 4.6~4.7 と群を抜いて高い数値となっている。自身の取り組みを問う Q8 及び理解度等を問う Q19~21 でも全て 4.4 であり、他は殆どが 3.8~4.0 であるから、他の入試形態による学生より 0.5p 程高い。留学生の方が学習意欲は高く、熱心に取り組んでいる分、授業内容への関心及び理解度も高いということであろう。

以上、今回のアンケートでは、とりわけ各教員の取り組みが奏功して良い結果となったが、今後とも、上級学年の回答率の向上や、学生の勉学意欲及び授業への関心・理解度を高めるための一層の工夫が必要であるように思われる。

(塩入 みほも)

連載企画：よりよい教育のために

学生FDスタッフのさらなる活躍を期待して

法学部 准教授 田中 優企

ご承知の通り、昨年度から、「学生FDスタッフ制度」と「学生が選ぶベスト・ティーチング賞（BTA）」からなる『FD Project』が始動しました。この詳しい経緯については、本学ホームページ（大学概要・教育上の取り組み）、「平成28年度学生が選ぶベスト・ティーチング賞」、「平成28年度FD活動報告書」及び「平成28年度学生FDスタッフ活動報告書」にまとめられていますので、本稿では当Projectにおける学生FDスタッフの活動について記すこととします。

当Projectには、BTAへの投票という形で1610名の学生の他、学生FDスタッフとして13名の学生に参加してもらいました。学生FDスタッフは、「学生FDスタッフ制度に関する内規」に基づきFD推進委員会小委員会に設けられた「大学直属の学生機関」であり、小委員会の指導に従って活動するだけでなく、内規に従って、自主的な企画を立ち上げたり、委員会等の会議で意見を求められたりすることもある機関です。学生が関わる大学の機関としては、本学では特異かつ大胆なものと思われま

す。採用に際しては小委員会委員による個人面接を実施し、志望動機などを質問しましたが、その中では、これまでの大学生活を通じて考えた、授業やその環境に関わる改善策を積極的に提案してくれる学生もいました。また、採用後には、小委員会のWGにおいて、シラバスを読んで理解してもらうための取り組みや「学生による授業アンケート」の回答率向上に向けた取り組みについて、具体的な意見を積極的に寄せてくれました。BTAの実施に際して、学生目線で、広報のためのキャッチフレーズや方法などを考案し、BTAを成功させようとする姿が垣間見えました。

学生が提示する意見の中には、事実認識が不十分であったり、実現が難しいものがあったりしましたが、教職員には難しい、学生独自の視点からの意見が様々な課題を検討する上でのヒントにもなりました。例えば、BTA実施期間中、学内の様々な所に

設置された目を引くポスターや動画などは、学生への情報伝達の在り方を考える上で参考になるでしょう。

初年度は、BTAの実施までの期間が非常に短かったので、学業などとの調整が大変だったようです。そのような中で、初めての試みであったにもかかわらず、熱心に活動してくれた学生FDスタッフのみなさんに敬意を表します。このような活動をさらに充実したものとするためには、人的資源に加え、予算や作業スペースなどの活動に関わる物的資源の充実も望まれます。

最後に、学生FDスタッフの活動に際しては、FD推進委員会及び同小委員会委員に加えて、教務部教育支援係・教学IR係の方々の細やかなサポートがあったことを記しておきます。

FD推進委員会の今後の活動予定

- 平成29年度第4回FD推進委員会小委員会
平成29年10月16日（月） 16：20～
- 平成29年度第2回FD推進委員会
平成29年11月7日（火） 16：20～

※FD活動についてご意見がありましたら、各学部等の小委員会委員までお申し出ください。

2017年度「公開授業」実施のお知らせ

今年も例年通り11月中旬から12月上旬にかけて「公開授業」を実施いたします。「公開授業」はよりよい授業の在り方を再考し、教える技術（教授法）について学ぶことができる貴重な機会となりますので是非ご参加ください。

日程等、詳細が決定しましたら、各学部等事務室及びKONMAでお知らせいたします。

～2017 年度「学生による授業アンケート」
(後期) 実施のお知らせ～

実施期間：平成 29 年 11 月 6 日 (月) ～24 日 (土)

対象科目：全科目対象 (集中講義科目、演習科目、
受講生が 20 名未満の科目は除く)

※WEBによるアンケートを実施しています (PC、
スマートフォン、携帯電話、タブレット等を使用し
て回答されます)。



編集後記

『FD NEWSLETTER 第 52 号』が完成しましたので、
お届けいたします。

今回の巻頭言は、教育・研究担当副学長の日笠完
治先生にご執筆いただきました。戦後日本の教育が
1947 年施行の教育基本法と、2006 年の改正教育基本
法に依拠していることを踏まえつつ、本学の教学方
針の具体化のために教職員の協働を強く訴えておら
れます。

また、連載企画「よりよい教育のために」は、法
学部の田中優企先生にご執筆いただきました。田中
先生は、本学において昨年度から始まった B T A (ベ
ストティーチング賞) の企画と実施に尽くされた立
場から、とくに学生 F D スタッフの活躍ぶりと、そ
の重要性について、書いていただきました。

さらに今回は、本年度の前期に実施された「学生
による授業アンケート」の集計結果の報告も載せて
います。以前の授業アンケート結果と比べると、授
業回数の確保、授業内容へのシラバスの反映などに
ついての前進や、留学生の学習意欲の高さなどが見
られるものの、問題点もいくつか指摘しております。

それでは、年 4 回刊行されているこのニューズレ
ターが、本学の F D 活動の推進に資することを願い、
本号の編集作業の結びとします。

(小林正人、塩入みほも)

【タイトル横の写真は、駒沢キャンパス本部棟と禅研究館】

FD NEWSLETTER Sep. 2017 第 52 号

発行日：2017 年 9 月 30 日

発行者：駒澤大学 F D 推進委員会

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1

TEL 03-3418-9444 Fax 03-3418-9114

(事務局：教務部)